

第5学年 算数科学習指導案

児童 男9名 女5名 計14名
授業者 教諭 鷺山裕之

1 単元名 分数をもっとくわしく調べよう

2 単元の目標

◎分数の性質や異分母の分数の加減法及び減法の意味について理解し、それらを用いることができるようにするとともに数についての感覚を豊かにする。

3 単元について

(1) 児童について

児童は、算数への関心意欲が高い。四則計算のみではなく、文章題等の課題に対しても積極的に関わり、自分の考えを進んで発表する児童が多い。

ペア学習に於いては、自分の考えを相手へ伝える機会を増やし、考えの交流を積極的に行なってきた。他との関わりを持ちながら授業を進める経験を積み重ねてきたことで、学習内容の定着度も段々と上がってきている。

グループ学習については、取り組みをする時間をあまりとってこなかった。徐々にグループ学習を取り入れながら、より他との関わりを持つことができるようになっていけばと考えている。

(2) 単元の指導と系統性について

「分数」については、第2学年において $1/2$ などの簡単な分数を学習している。第3学年では、「分母」「分子」など分数の意味や表し方について学習をしてきた。第4学年では、「真分数」「仮分数」「帯分数」を扱い、さらに大きさの等しい分数の存在に気付かせる活動を通して理解を深めてきた。第5学年「分数と小数、整数の関係」の学習では、わり算の商という分数についての新しい意味を学習してきた。

分数の加減計算でのつまずきは、約分や通分で多く見られる。数直線や面積図を用いて視覚的にとらえさせていくように心がけたい。

また、この単元が中学部数学の全領域につながる大切な部分となるため、「約分・通分」という内容の定着に向け、学習の振り返りや復習にしっかりと取り組んでいきたい。

4 単元の指導計画 (全12時間)

(第1次)	(第2次)	(第3次・まとめ)
①分数の分母と分子に同じ数をかけても、同じ数でわっても、分数の大きさは変わらないことを理解する。 ②約分の意味について理解する。 ③通分に意味について理解する。 ④通分をして数の大きさを比べることができる。	⑤異分母の分数の加減計算の意味を理解し、その計算ができる。 ⑥約分ができる倍の加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。 ⑦帯分数の加減計算の仕方を理解し、その計算ができる。 ⑧帯分数の減法計算の仕方を理解し、その計算ができる。 ⑨分数と小数の加減計算ができる。 (本時)	⑩分数を用いた時間の表し方を理解する。 ⑪学習内容を適用して問題を解決する。 ⑫学習内容を定着し、理解を確実にする。

5 本時の指導 (9/12 時)

(1) 目標 ◎分数と小数の加減混合計算ができる。

(2) 研究との関わり

〈視点2〉児童の思考が深まる学び合いの工夫について

児童相互の思考のやりとりにより、学習内容の定着と深化を図る。本単元では、他者の考えに関連するものの発表、他者の考えについて説明するという形をとって視点に迫りたい。

〈視点3〉ねらいに沿った学習及び振り返りの在り方について

数を分数で表すことのよさについて、小数と分数での表記を比較・検討させるなどして導き出させたい。振り返りについては、授業から学び取ったことや、友達から学んだことを中心に書かせるようにしたい。

(3) 本時の評価規準

評価規準	指導の手立て
加減混合計算では、分数で表せば計算できることを理解している。	問題場面を理解することができない児童がいることが予想される。数直線で確かめながら見通しを持って計算できるよう配慮する。 更に、ペア学習により問題場面を理解させ、自力解決そして学び合いへとつなげていく。

(4) 展開

段階	活動内容 (●発問 ○児童の反応例)	・指導の手立てと留意点 ◇評価
課題把握	1 既習学習を振り返り、問題提起を行う。 ● $\frac{1}{5} + \frac{1}{2}$ 2 今日の問題を確認する。	・指導の手立てと留意点 ◇評価 ・異分母の計算について取り上げ、そろえて計算するということを想起させる。 ・そのままでは計算できないことをおさえる。
5分	●この計算を見て、何か思うところはない。 ○今までは、小数は小数同士、分数は分数同士の計算だった。 3 今日の学習課題を確認する。	
	〈問題〉 $\frac{2}{5} + 0.3$ の計算のしかたを考えましょう。	
	〈学習課題〉 分数と小数がまじった計算のしかたを考えよう。	
見通し 3分	4 解き方の見通しを持つ。 ●どうすればできそうですか。 ○小数・分数のどちらかにそろえればできそう。	・前単元の学習で、小数と分数の大きさ比べをしたとき、どちらかでそろえればよかったことに着目させる。
自力解決 3分	5 自分の力で、答えを導く。 ●答えが出たら、隣の人と確認してみて。	・早くできた子には、隣の子ができていないか確認させ、結果について話し合わせる。
学び合い 21分	6 解決方法を発表し合う。 ●○○くんは、どのような考えで計算したのかな。 ○小数を分数にして計算しています。 ○分数を小数にして計算しています。 ● $\frac{2}{3} + 0.5$ の計算はどうか。 ○小数にするとわりきれない。 7 学習課題を振り返る。	・学び合い前に、必要な場合はペア学習を行うことで、自分の考えを深化し、自信を持って発表できるようにさせる。 ・どちらに合わせても計算できることを確認する。 ・割り切れない場合もあることを理解させる。
	〈まとめ〉 分数と小数のまじった計算は、どちらかにそろえて計算する。分数を小数で表せないときは、分数にそろえて計算する。	
適用 10分	8 適用問題に取り組む。(P114 6)	◇(知) 分数と小数の加減混合計算では、小数を分数で表せばいつでも計算できることを理解している。
まとめ 3分	9 今日の学びを振り返る。 ●今日学んだことを振り返りましょう。(分かったこと、友達から学んだこと、次にしたいこと等について学習を振り返る。)	・今日の学びについて、もう一度確認する。 ・次につながるような言葉がけをする。

